

『ネットワーク社会における豊かな学びとメディア』

近年、驚くような速さで映像関連機器や情報通信技術が発達しています。教育の場においても、薄型・大型のデジタル映像機器、地上デジタル放送、小型・高照度のプロジェクター、電子黒板等が日常のものとなりました。また、ブロードバンド化されたインターネットや校内にあまねく張り巡らされたネットワークの活用も当たり前前の時代がやってきました。社会においても、20年前に提唱されたユビキタス・コンピューティングは現実のものとなりつつあります。

このように、わたしたちは高度に情報化され、有機的に関連し合うネットワーク社会に生きています。それらを効果的に活用すれば、「いつでも、どこでも、だれでも」必要な情報を学習に役立てることが出来ます。情報を集め、吟味し、課題を追究し、交流し合っていく過程で、放送をはじめとした多様なメディアや視聴覚機器、ICTを活用し、体験的な活動と組み合わせ、情報読解能力や情報モラル、コミュニケーションをはじめとする人間関係力などを育み、豊かな学びを構築していきたいと考えます。そして、めまぐるしく変化し進展していく社会に対応し、人と人とがかかわり合う社会の一員としてたくましく生きる力を身に付けることを願っています。

以上の考えに立ち、視聴覚教育総合全国大会と放送教育研究会全国大会との3回目の合同開催となる本大会は、授業公開等をもとにしてメディアを活用した豊かな教育活動を改めて学び合うものとなります。多くの方々のご参加をお待ちしております。

平成21年7月

合同大会（愛知大会）実行委員長 江村 力